

複合的資源管理型漁業促進対策事業調査

マコガレイ（日本海）

（抄録）

小向 貴志

はじめに

第 I 期対象魚種マコガレイの資源管理後の漁獲動向を把握する。

材料及び方法

青森県日本海沿岸 8 漁協（脇元、十三、車力、赤石水産、大間越の 5 漁協を除く）の漁獲量と金額を月別・漁法別・銘柄別に調査した。ただし、大戸瀬と風合瀬漁協については 0.2kg 以下の銘柄「小カレイ」に含まれるものは集計しなかった。

結果

日本海海域におけるマコガレイの漁獲量は、1994 年に大きく減少した後、1998 年まで横這いで推移していたが、1999 年は約 33 トンで前年比 65% に減少した。特に鱒ヶ沢港の減少が著しかった。漁獲金額は 3,300 万円で前年比 69% に減少した。

漁協別漁獲量

鱒ヶ沢漁協の日本海マコガレイ水揚げに占める割合は 96 年に 46% であった他は 93～99 年と半分以上を占めていた。次いで大戸瀬漁協が多かった。

漁協別漁獲金額

漁協別漁獲量と同様に鱒ヶ沢漁協が半分以上を占めていた。99 年は全体の漁獲金額 3,300 万円に対し鱒ヶ沢漁港が全体の約 56% の 1,850 万円を占めていた。

月別漁獲量・金額

1～4 月が漁獲・金額共に大きく、99 年は 3 月に年間の約 1/3 を漁獲していた。

漁業種類別漁獲量・金額

定置網による漁獲が大半を占め、99 年は 78% が定置網による水揚げであった。金額も定置網による水揚げが全体の過半数を占め、99 年は約 80% が定置網による漁獲であった。

鱒ヶ沢漁協沖合底曳網における銘柄別漁獲量

93 年より銘柄組成に大きな変動はなく「大」が全体の大部分を占めていた。99 年は 69% が「大」であった。

鱒ヶ沢漁協沖合底曳網における銘柄別漁獲金額

銘柄「大」が全体の漁獲金額の半分以上を占め、99 年は約 67% を占めていた。

鱒ヶ沢漁協沖合底曳網におけるマコガレイの銘柄別単価

銘柄「中」が最も高いが、1993 年以降下落傾向で 99 年は 1,583 円/kg であった。

発表誌：平成 11 年度複合的資源管理型漁業促進対策事業報告書：平成 12 年、青森県